

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程デジタルクリエイター科	1	プロツールズ実習Ⅰ	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	辻田勝宣	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
[実務経験歴]			
アーティスト楽曲REC、MIX、Mastering TV、CM用楽曲REC、MIX、Mastering パチンコ、パチスロ遊戯台用楽曲作成 Vtuber配信動画用音声編集			
単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input type="radio"/> 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択
[授業の目的・ねらい]			
①Pro toolsを使用しての録音、編集作業を身につける			
[授業全体の内容の概要]			
①Pro toolsシステムについて ②Pro Toolsを使用しての録音 ③Pro Toolsを使用しての編集作業			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
Pro toolsを使用しての録音、編集作業を身につける。			
[準備学習の具体的な内容]			
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト Pro Toolsマニュアル、PDF教材 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	Pro Toolsとは		
2回	Pro Toolsシステムについて		
3回	Pro Toolsシステムの機材構成		
4回	Pro tools HDとPro Tools Nativeの違い		
5回	Pro Tools HDの起動		

6回	新規セッション
7回	初期設定その他①
8回	初期設定その他②
9回	新規トラック作成手順
10回	トラックの種類、使用方法①
11回	トラックの種類、使用方法②
12回	トラックの種類、使用方法③
13回	トラックの種類、使用方法④
14回	トラックの種類、使用方法⑤
15回	まとめと振り返り
16回	Pro Tools HDシステムとMIDI
17回	MIDIレコーディングの方法
18回	MIDIレコーディング①
19回	MIDIレコーディング②
20回	MIDIレコーディング③
21回	MIDIレコーディング④
22回	まとめと振り返り
23回	Pro Tools HDシステムとオーディオレコーディング
24回	オーディオレコーディングの方法
25回	オーディオレコーディング①
26回	オーディオレコーディング②
27回	オーディオレコーディング③
28回	オーディオレコーディング④
29回	オーディオレコーディング⑤
30回	まとめと振り返り